

不動産業業況等調査（2018年10月）^{*1}

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	13.2 p	△ 3.9 p ▼
不動産流通業（住宅地）	△ 6.7 p	△ 5.1 p ▼
ビル賃貸業	20.5 p	1.5 p ▲

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	1.5 p	△ 4.2 p ▼
不動産流通業（住宅地）	△ 4.2 p	3.1 p ▲
ビル賃貸業	△ 2.3 p	6.8 p ▲

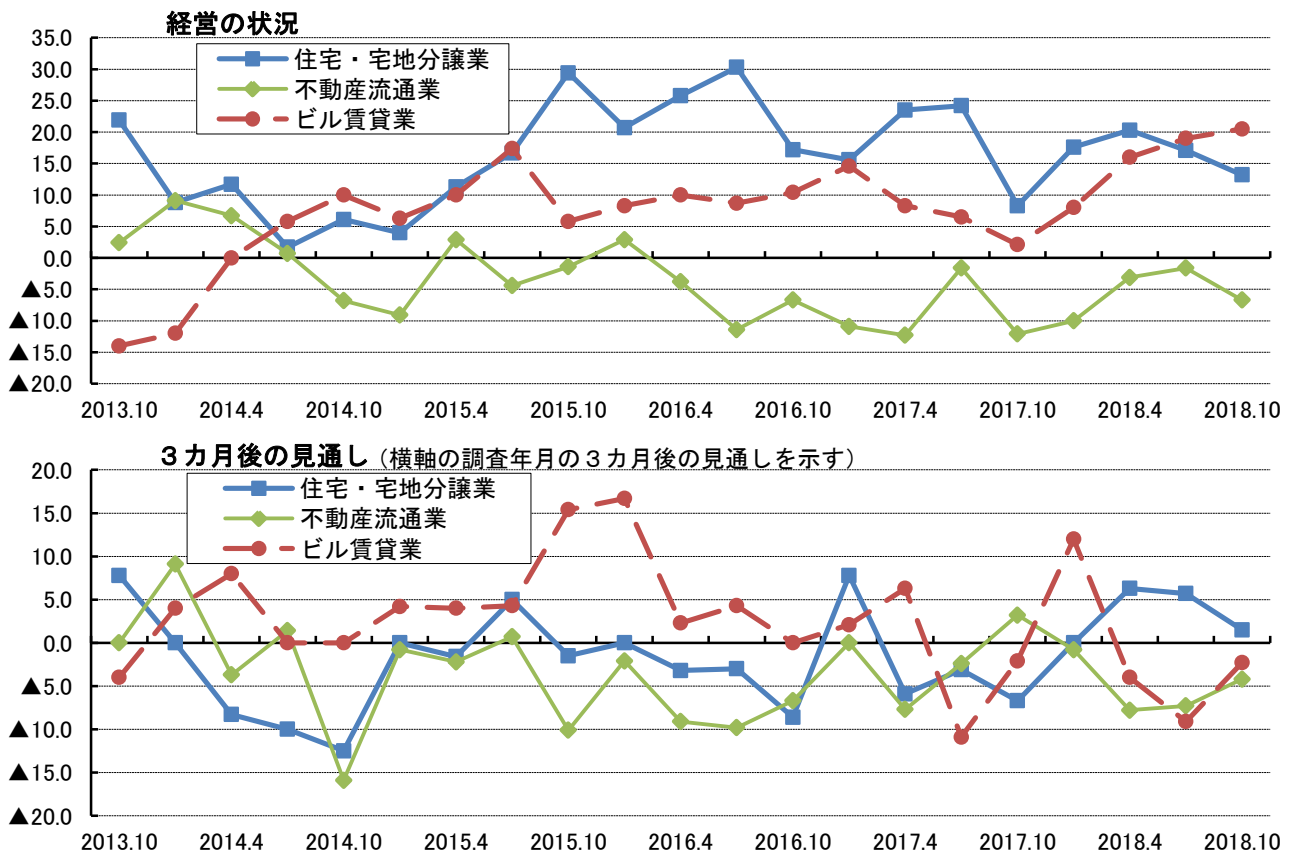
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 3.9p 悪化し 13.2p。23期連続のプラス水準。
不動産流通業は前回から 5.1p 悪化し ▲6.7p。11期連続のマイナス水準。
ビル賃貸業は前回から 1.5p 改善し 20.5p。18期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業で改善、不動産流通業およびビル賃貸業は悪化。

^{*1} 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

^{*2} 経営の状況＝{（「良い」×2＋「やや良い」）－（「悪い」×2＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

^{*3} 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」